

## 実例からまなぶ、上手なしかり方・ダメなしかり方 ~生徒編~

「しかるってむずかしい・・・」そう思っている方に次の実例がきっと役立つと思います。

### テレビゲームの風景

夕食後、中学1年生の翔太は宿題があるにも関わらず、テレビゲームをやめようとしません。それを見かねた母親が翔太に注意をしています。

母親：「もう、ゲーム止めて宿題したら。」

翔太：「もうちょっと。今、最後のいいところなんだ。」

母親：「何言ってるの。いい加減にしなさい！2時間もやってるのよ!!」

翔太：「わかった。わかった。もう、終わりにするから。」

母親：「何時だと思ってるの。もう、10時よ。早く宿題やらないと、明日の朝起きられなくなるわよ。」

翔太：「もう、しつこいなー、お母さんは。じゃあ、あと10分だけ。」

**お母さんは10分間待ちました。しかし、10分たっても翔太は、いっこうにゲームをやめようとしません。**



そんな時、あなたならお子さんに何て声をかけますか？



○「だれが10分って決めたの？自分の行動に責任が持てない人は、もうゲームはさせませんよ。」

**良い例**

○「自分で決めたことが守れないなんて、お母さんはとてもさみしいわ。どうやったら、時間が守れるようになるか、一緒に考えましょう。」

○「何で、あなたはいつもそうなの。だらだら、やってるからいつまでたっても、成績が上がらないのよ!!」

**悪い例**

○「まったく、もう。全然言うこと聞かないんだから!!そんな子に育てた覚えはありません。だから、あなたは何をやってもダメなのよ。」